

新型コロナウイルスに関するご報告 第2報

ケアハウスビアンカにおける新型コロナウイルスによる新たな陽性者の発生状況についてご報告いたします。

新たな陽性者について

12月11日、濃厚接触者であった1名の利用者様に発熱の症状が見られ、医療機関を受診した結果、陽性が確認されました。

12月12日、濃厚接触者と認定された利用者様及び職員に対するPCR検査の結果、利用者様8名、職員3名の陽性が確認されました。

陽性と診断された皆様は、現段階で軽症あるいは無症状ですが、医療機関へ入院しております。また、12月12日の結果を受け、残りの全利用者様及び職員がPCR検査の対象となりましたが、12月13日の検査の結果いずれも陰性と判断されています。

12月14日現在、新たな陽性者は発生しておりません。

系列施設である特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションとは建物も異なり、職員の行き来がなく濃厚接触者は居ないため、営業の制限は必要ないことを確認しております。また、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションの全職員は12月11日に自主的に抗原検査を行い、全員陰性の診断を受けたうえで営業しております。

利用者様やご家族の皆様にはご心配をおかけしますが、東濃保健所をはじめ、岐阜県東濃県事務所、岐阜大学医学部附属地域医療医学センター長 村上啓雄教授の指導の下、さらなる感染拡大の防止に向けた適切な対応を行っております。引き続き、感染拡大の抑止と利用者様、職員及び関係者の安全を最優先として、必要な対策を迅速に実施してまいります。

新型コロナウイルス陽性者発生の報告

令和2年12月10日に、ケアハウスピアンカの入居者様1名が新型コロナウイルスの陽性者であることが判明しました。

陽性の入居者様につきましては、現在医療機関に入院しております。現在東濃保健所の指示のもと、濃厚接触者に対してPCR検査を実施しております。

系列施設である特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションとは、建物も異なり、職員の行き来がないため、営業の制限は必要ないことを確認しております。

利用者様やご家族の皆様にはご心配をおかけしますが、今後も感染対策を徹底し安心した生活を送っていただくべく努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。